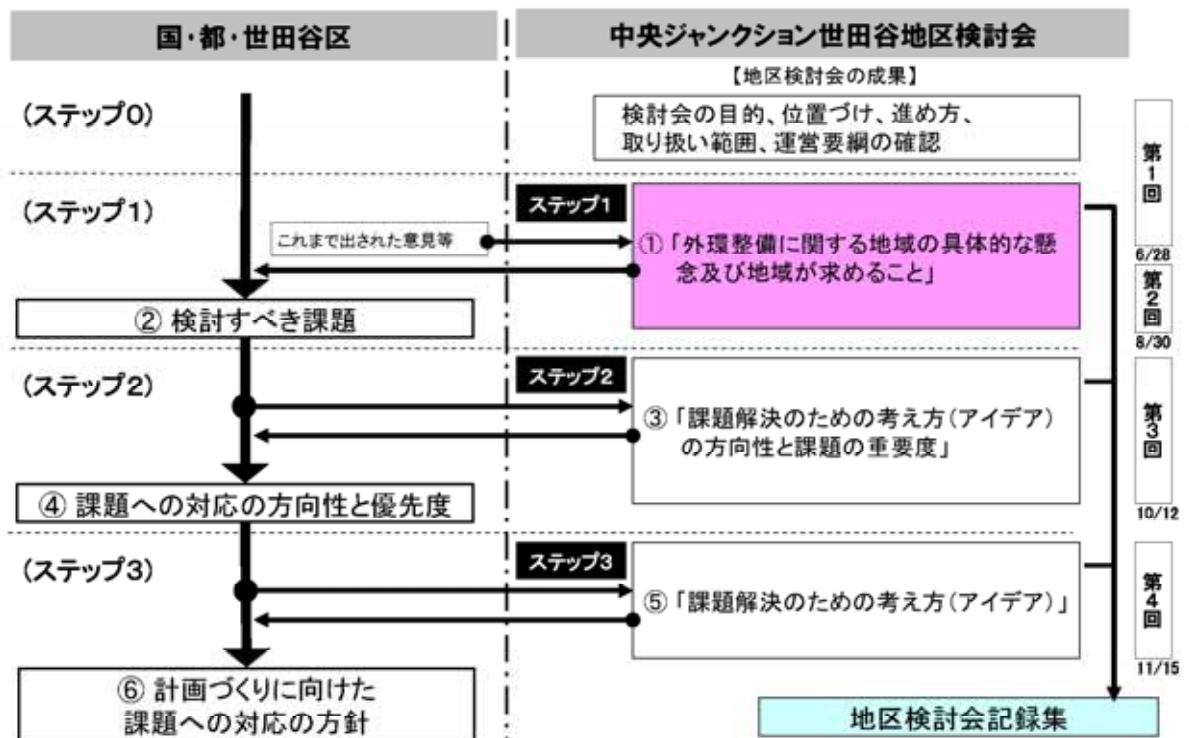


第2章 地区検討会における とりまとめ資料

(1) ステップ 1

【検討会運営事務局】

外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること



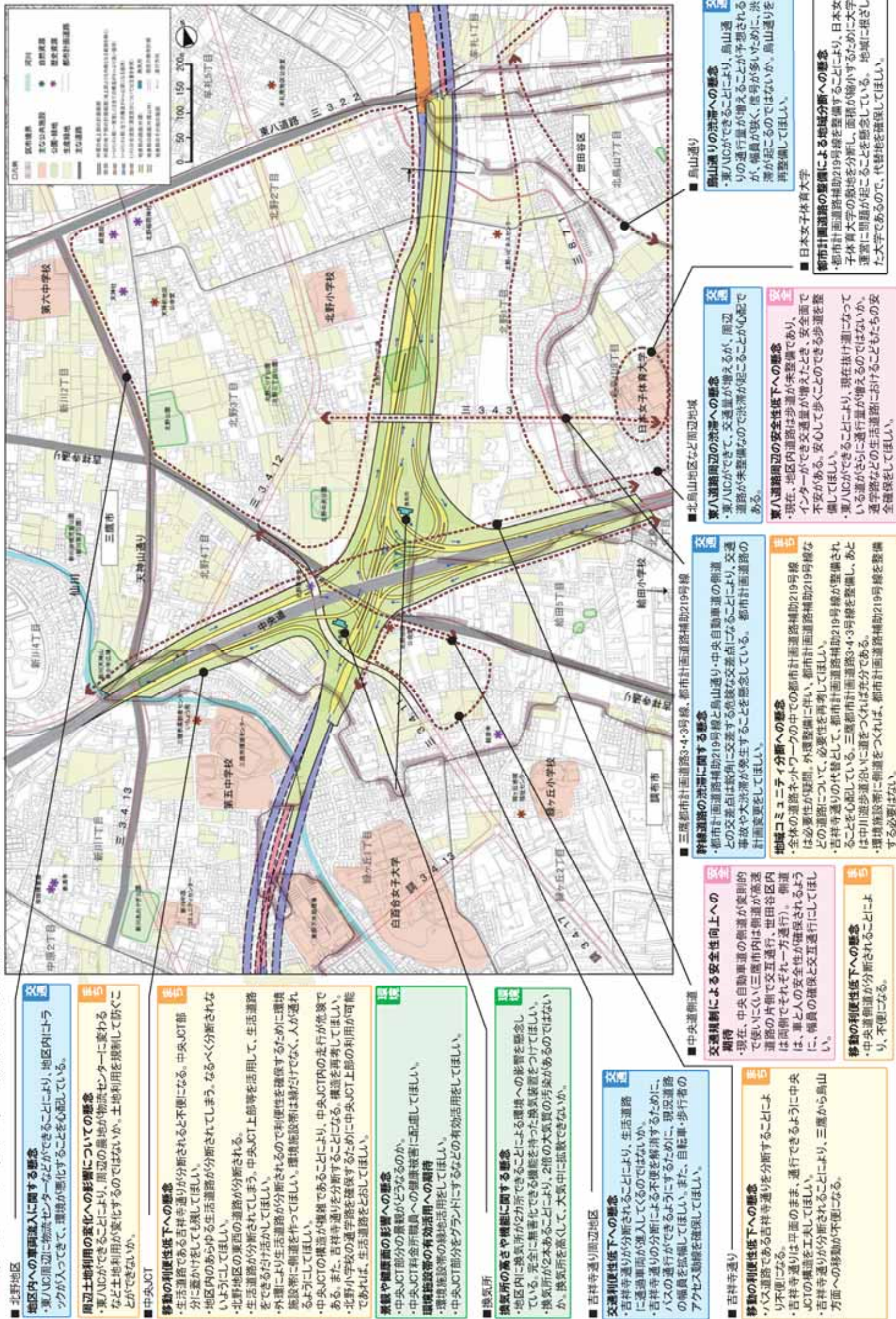
中央ジャンクション世田谷地区検討会 外環整備に関する地域の具体的な懸念 及び地域が求めること

【本資料について】

- ・本資料は、中央ジャンクション世田谷地区検討会において、ステップ1（第1回～第2回）でのメンバーの議論の成果となります。
- ・地区検討会では、第1回～第2回にわたり、グループごとに、外環計画が具体化するとしたら地域にとってどのような問題が懸念されるか、地域が求めることは何かについて、現地見学会を通じて現地を確認しイメージを共有したうえで話し合ってきました。

中央ジャンクション世田谷地区検討会 検討会運営事務局

Aゲループ(1/2) 場所を特定できる意見



Aグループ(2/2) 場所を特定できない意見

1. 交通

交通
生活道路への車の流入による安全性低下に関する懸念 ・吉祥寺通りが分断されることにより、生活道路に通過車両が進入してくるのではないかと。 生活道路網の整備による移動の利便性向上への期待 ・外環境界部にある土地は接続道路がなく不便になる。また現在、細い生活道路の行き来がしにくいので、幅員が十分な道路をつくって欲しい。 外環や周辺道路整備に伴う経済効果への期待 ・外環や周辺道路の整備により、経済効果があることにより、利益がある人もいる。また甲州街道などの交通量が緩和される効果を期待している。

2. 環境

環境
排出ガスや騒音、地下水枯渇などによる影響への懸念 ・外環が整備されることにより渋滞が解消されて、エネルギーの有効利用につながることを期待する。しかし、排出ガスによる影響を懸念しているため、排出ガス対策をしてほしい。 ・中央JCTのオーブン部分からの騒音悪化を心配している。蓋かけをできるだけして欲しい。その場合、景観や活用方法も有効なものを期待する。 ・中央JCTのオーブン部分からの排出ガスが心配だ。 ・現在でも使われている井戸水等の地下水脈が外環工事により覆れることを心配している。 ・災害時に生命線となる井戸が外環整備により影響があることを心配している。

3. まちづくり

まちづくり
移動の利便性低下への懸念 ・吉祥寺通りと中央街道の2本の道路が使えなくなることにより、生活道路に通過交通が入ってくると怖い。

6. 用地補償

補償
移動先の確保や補償などへの懸念 ・事業が具体化しないので相続時に土地を売却して、その場所が住宅になってしまふ。それをさらに買収するのは効率が悪い。整備スケジュールを教えてほしい。 ・相続税納付猶予制度を活用した生産緑地が外環の整備に合わせて収用されると相続税に加えて、延納分の利子税が納めなくてはならない。土地を買収する場合には、代替地の確保や利子税分の補償をしてほしい。

7. 計画検討の進め方

情報の提供
・中央JCT上部の利用について検討するために、環境的、技術的、構造的な観点から中央JCTの蓋かけ可能な部分を示してほしい。 ・中央JCTの三鷹市・調布市の検討会で行われた議論の内容を知りたい。

その他

・三鷹都市計画道路3・4・11号線の中央JCT交差部分は直線にできないのか。
--

Bグループ(2/2) 場所を特定できない意見

1. 交通

交通
幹線道路の渋滞に関する懸念 ・道路整備は計画通りに進まないことが多く、工期が長期化することが懸念される。それに伴う費用の増加や道路特定財源の一般財源化に伴い、財源が確保されない場合、利用料金が高くなる可能性がある。利用料が高くなると利用率が計画より下回り、計画通りに地域内の交通が減少しない可能性があり、それによる地域環境の悪化が懸念される。 ・生活道路網の整備による移動の利便性向上への期待 ・外環の計画が凍結されていた期間、周辺の都市計画道路の整備も遅れ、生活の不便が続いていて困っている。外環整備より一般の都市計画道路の整備が進むことを期待している。

2. 環境

環境
排出ガスや騒音などによる影響への懸念 ・外環整備に伴い、大気質が悪化することを懸念する。 ・現在の中央道からの騒音を低減させるため、南側の防音壁を上げる。

4. 安全・安心

安全
耐震性への懸念 ・他地域の地震で道路が倒壊しているため、構造物の耐震性がとても不安である。 ・雨水排水処理に関する懸念 ・地域の雨水排水に影響が出ないよう、排水計画を踏まえた整備とする。

5. 工事中

工事
工事期間による地域交通の影響への懸念 ・工事中の工事車両は相当多いのではないのか。生活環境や地域交通への影響を懸念する。工事中は一般道を使わず中央道に臨時出入口を設け、中央道により資材や残土等の搬出入を行う。あるいは、東/西環を取り止め、ジャンクションのみとし、工期を短縮し工事車両を減少させる。 ・事故の発生や交通の安全性低下への懸念 ・工事車両が通行する場合の一般道の安全性や生活環境への影響に対応するため、外環整備を行う前に関係する三鷹都市計画道路3・4・3号線、3・4・11号線等を整備する。

6. 用地補償

補償
地権者への説明や対応に関する懸念 ・都市計画道路の計画線内の土地利用制限が指定後40年続いているが、整備する時期がはきりしないために、建物の建て替えが自由にできず困っている。

7. 計画検討の進め方

情報の提供
・換気所に関して、首都高中央環状線での影響に関する情報を示してほしい。

その他

・中央ジャンクションに関わる三地区(調布、三鷹、世田谷)の検討会の他地区(調布、三鷹)の途中段階での取りまとめの結果を情報提供してほしい。 ・計画に対するデマンドだけを議論するのはなく、具体的なインターチェンジの位置など発展的な検討した方がよい。 ・地区検討会は外環整備への反対はできず、整備する事を前提としているのか。 ・検討すべき課題」が主催者から出される前に、他の地域の意見を知りたい。 ・検討会が終わるまでに、出された意見が今後の設計に何をどう活かすのかを示すなど、行政として誠意を見せてほしい。 ・各区市から出された要望書への回答より具体的な対応を示してほしい。
--

Cゲループ(1/3) 場所を特定できる意見

■環境施設等

環境評価項目に関する懸念

・都市計画審議会や環境影響評価の内容を見ると、緑の広場や池、雑木林、路地空間などのアメニティや住みやすさなどの環境が抜けており、環境の劣化が心配である。環境が劣化する分の代用を、中央JCT周辺の空間に多めに取るように計画してほしい。

環境施設等の有効活用への期待

・外環の整備は地域の緑が減少してしまうのではないかと心配している。減少してしまう緑の代償として、インターチェンジの地上部を有効活用しても良いのではないかと。

環境施設等の有効活用への期待

・この地区は、外環と中央自動車道が交差する位置なので、災害発生時に毛布や食料などを緊急輸送できるように、高架下や環境施設帯などに災害時のための備蓄倉庫をつつてほしい。

・この地域にはグラウンドなど、区の施設が少ない。中央高速道路の高架下が野球場などに使われており、そういった地域の需要があると思うので、着実に整備をかけるなど有効活用してほしい。

■換気所

地権者への説明や対応に関する懸念

・最近でも計画地内に住宅が分譲・販売され続けている。最近になって新しく住み始めた人たちが含めて、事業化の時期などを説明してほしい。

■換気所

換気所の高さや機能に関する懸念

・換気所が分譲計画されており、大気汚染が心配ではないかと心配である。周辺地域の住民に影響が出ないように、換気所の高さをできるだけ高くしてほしい。

・換気所の高さが、三鷹市環境センターの煙突よりも低いので影響が心配である。中央環状新橋の換気所と比べても低く、CO₂の処理能力が心配である。景観よりも大気質や騒音への対策が大切だと思うので、換気所の高さを15mではなく45mに高くしてほしい。景観に配慮して低くしようという意見は周面で聞いたことがない。低くするのは建設費用を抑えるためでないか。

■低周波音発生による影響への懸念

・換気所から排出ガスを放出する際に低周波音が発生するが、その対策はできているのか心配である。1/3オクターブ周波数分析をして、周波数の成分を示してほしい。

■排出ガスや騒音などによる影響への懸念

・換気所から上空に排出ガスを吹上げるときに風圧が高く風切り音が出ると思うので、影響評価を実施しているのであればデータを示してほしい。実施していないのであれば、追加調査してほしい。

・大気質の予測で、NO₂とSPMの現況値として深大寺南測定局の値が使われているが、計画地とは条件が違うため参考にならないのではないかと。

■給水5丁目地区など周辺地域

生活道路への交通流入に関する懸念

・生活に身近な生活道路は、4mまででそれ以上には拡張しないほうが良い。生活道路に抜け道利用などの通過交通が増え、交通量も増えるのではないかと心配である。

■中央JCT、ランプ部

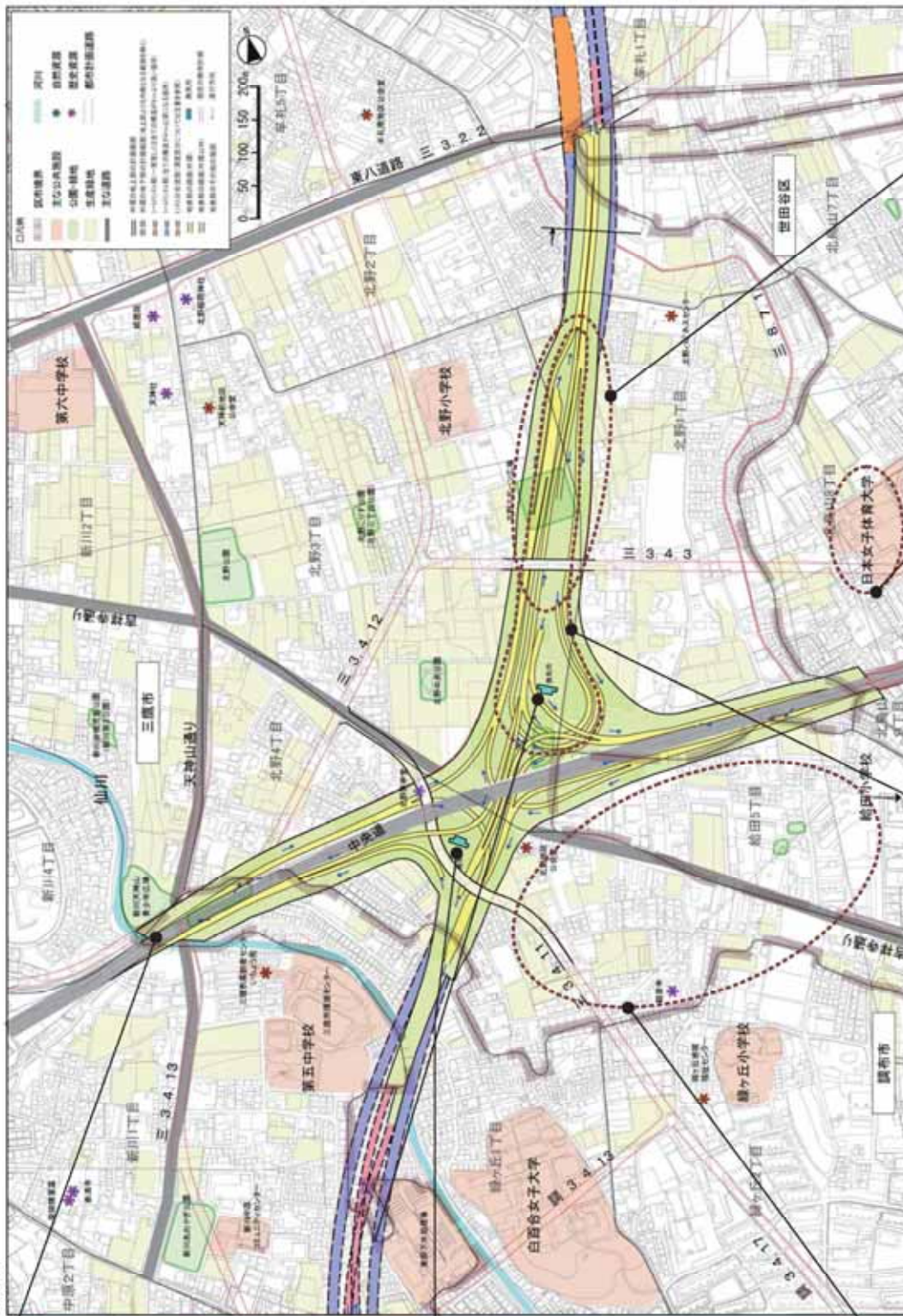
排出ガスの影響への懸念

・ジャンクションやインターチェンジの経路が複雑で、ランプ部や料金所で渋滞が発生して、排出ガスの排出量が多くなるのではないかと心配である。ジャンクションやインターチェンジの経路が複雑で、事故が起きるのではなかと心配である。4mまででそれ以上には拡張しないほうが良い。生活道路に抜け道利用などの通過交通が増え、交通量も増えるのではないかと心配である。

・ジャンクションやインターチェンジの経路が複雑で、事故が起きるのではなかと心配である。ジャンクションやインターチェンジの経路が複雑で、事故が起きるのではなかと心配である。ジャンクションやインターチェンジの経路が複雑で、事故が起きるのではなかと心配である。ジャンクションやインターチェンジの経路が複雑で、事故が起きるのではなかと心配である。

・ジャンクションやインターチェンジの経路が複雑で、事故が起きるのではなかと心配である。ジャンクションやインターチェンジの経路が複雑で、事故が起きるのではなかと心配である。ジャンクションやインターチェンジの経路が複雑で、事故が起きるのではなかと心配である。ジャンクションやインターチェンジの経路が複雑で、事故が起きるのではなかと心配である。

・ジャンクションやインターチェンジの経路が複雑で、事故が起きるのではなかと心配である。ジャンクションやインターチェンジの経路が複雑で、事故が起きるのではなかと心配である。ジャンクションやインターチェンジの経路が複雑で、事故が起きるのではなかと心配である。ジャンクションやインターチェンジの経路が複雑で、事故が起きるのではなかと心配である。ジャンクションやインターチェンジの経路が複雑で、事故が起きるのではなかと心配である。



■日本女子体育大学

分断による安全性低下に関する懸念

・都市計画道路補助219号線が通ると、大学敷地が分断され、教室移動時などの学生の交通安全が保てなくなるかと心配である。

■トンネル出口付近

・トンネル出口付近に排出ガスがたまるのではないかと心配である。

■トンネル出口付近

・トンネル出口付近に排出ガスがたまるのではないかと心配である。

■トンネル出口付近

・トンネル出口付近に排出ガスがたまるのではないかと心配である。

■トンネル出口付近

・トンネル出口付近に排出ガスがたまるのではないかと心配である。

・トンネル出口付近に排出ガスがたまるのではないかと心配である。

・トンネル出口付近に排出ガスがたまるのではないかと心配である。

・トンネル出口付近に排出ガスがたまるのではないかと心配である。

■トンネル出口付近

・トンネル出口付近に排出ガスがたまるのではないかと心配である。

・トンネル出口付近に排出ガスがたまるのではないかと心配である。

・トンネル出口付近に排出ガスがたまるのではないかと心配である。

・トンネル出口付近に排出ガスがたまるのではないかと心配である。

■トンネル出口付近

・トンネル出口付近に排出ガスがたまるのではないかと心配である。

・トンネル出口付近に排出ガスがたまるのではないかと心配である。

・トンネル出口付近に排出ガスがたまるのではないかと心配である。

・トンネル出口付近に排出ガスがたまるのではないかと心配である。

■トンネル出口付近

・トンネル出口付近に排出ガスがたまるのではないかと心配である。

・トンネル出口付近に排出ガスがたまるのではないかと心配である。

・トンネル出口付近に排出ガスがたまるのではないかと心配である。

・トンネル出口付近に排出ガスがたまるのではないかと心配である。

■トンネル出口付近

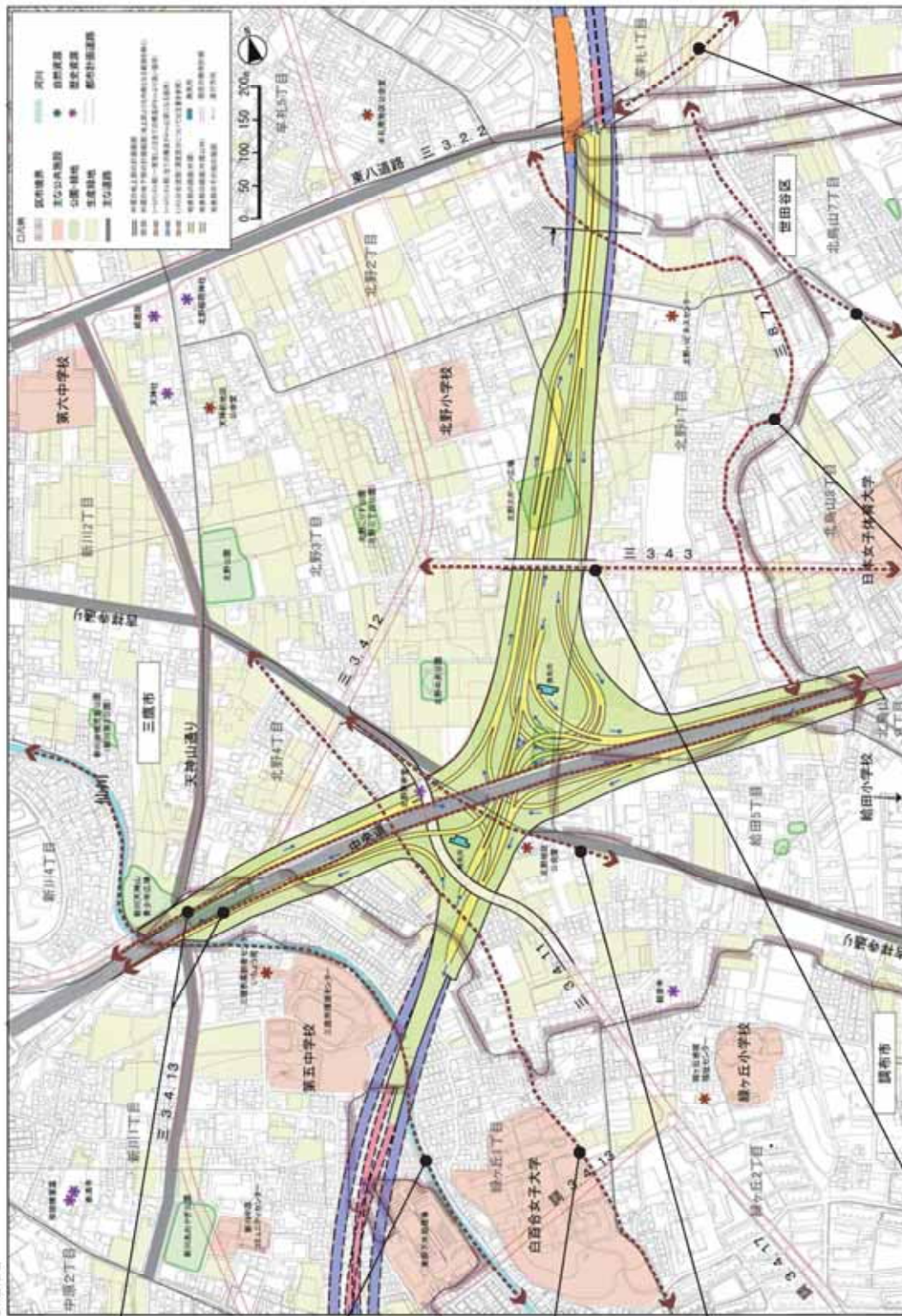
・トンネル出口付近に排出ガスがたまるのではないかと心配である。

・トンネル出口付近に排出ガスがたまるのではないかと心配である。

・トンネル出口付近に排出ガスがたまるのではないかと心配である。

・トンネル出口付近に排出ガスがたまるのではないかと心配である。

Cグループ(2/3) 場所を特定できる意見



交通
■ 中央高速道路の側道
生活道路の整備による移動の利便性向上への期待
・中央自動車道の側道は、利便性が高く、地域住民が利用する主要な道路である。分断されずに通れることが心配である。外環の整備後も行き止まりや回り道にならないよう、側道を利用できるようにしてほしい。
あわせて、杉並区境の北島山2丁目の側道を整備してほしい。

歩道
■ 仙川沿いの歩道
移動の利便性低下への懸念
・仙川沿いの歩道は、居住者が多く、歩道が分断されるとさらに魅力が低下してしまうのではないかと心配である。

交通
■ 白百合学園通り
生活道路への通過交通進入に関する懸念
・白百合学園通りは、道路幅が狭い、抜け道に利用する車の交通量が多く、大きな車両も通っている。現在よりも交通が滞りやすくなるのではないかと心配である。

歩道
■ 吉祥寺通り
移動の利便性低下への懸念
・吉祥寺通りは、地域住民が利用する主要な道路であり、通学路でもあるので、分断されて通れなくなることが心配である。

交通
■ 環八通りのインターチェンジ設置への期待
・環八通りのインターチェンジは、東八にまで迂回する際には、東八にまで迂回する不便な計画なので、環八道路の近くに下り方面の入口を新設してほしい。

緑地
■ 清水松原への懸念
・北島山の寺町通り周辺は戦争や震災時に浅草から寺院が移転してきた歴史ある場所である。高層ビルが立ち上がり、外環工事などで影響が出て、枯れ込んでしまわないか心配である。高層ビルの湧水を影響評価調査の対象に入れてほしい。

歩道
■ 都市計画道路補助219号線、217号線
都市計画道路の整備による地域分断への懸念
・都市計画道路補助219号線と都市計画道路補助217号線は、住宅地の真ん中を通ることになり、通学路の分断やコミュニティの分断が起これば、生活道路の近づくに下り方面の入口を新設してほしい。

歩道
■ 中川遊歩道
移動の利便性低下への懸念
・中川遊歩道は、千歳鳥山駅周辺まで続く歩行者専用道路である。散歩で利用している人が、分断されて通れなくなるのではないかと心配である。

交通
■ 鳥山通りの流滞への懸念
・現在でも交通量が多い鳥山通りは、東八と甲州街道方面を行き来する車が増え、交通が集中して渋滞するのではないかと心配である。
・東八に開通する鳥山通りや吉祥寺通り、新設される都市計画道路などの交通量がどれくらいになるのか心配である。外環本線だけでなく、周辺の幹線道路の流れ、動線、交通量の増減などの交通予測をしてほしい。

交通
■ 東八道路
東八道路周辺の流滞への懸念
・東八道路の出入り口となる東八道路が環八通りの高井戸方面まで開通しないこと、外環を利用する車でインターチェンジ周辺で渋滞が発生するのではないかと心配である。

C ギループ(3/3) 場所を特定できない意見

2. 環境

排気ガスや騒音などによる影響への懸念

- ・現状でも中央自動車道を通る車の排気ガスで干渉している洗濯物が汚れることがある。外環を整備されるとさらに排気ガスの影響が濃くなるのではないかと心配である。
- ・中央自動車道から30mほど離れたところに住んでいるが、冬の明け方など静かな時間帯には車が通る音が聞こえる。ジャンクションの近くに住む人たちは、騒音による影響が出るのではないかと心配である。
- ・現状でも中央自動車道を通る車の騒音や振動があるが、外環の整備後にどの程度の影響が出るのかを知りたい。

地下水枯渇への懸念

- ・以前、大学敷地内で建設工事をした時に、地下を掘ったら地下水が出た。この地域には水脈があり、外環工事で水脈が切れて井戸水などに影響がないようにしてほしい。

外環の整備による緑量減少に関する懸念

- ・見守会をしてみても、思っている以上に地域に、緑や畑が多く、とても環境が良いと思った。外環が整備されると大気汚染による緑の減少や環境への影響が心配である。環境施設帯が緑の代替になるようにしてほしい。

3. まちづくり

移動の利便性低下への懸念

- ・もととして区市の境界が複雑な地域であるが、外環の整備で、地域が分断されて各区市の公共施設などの利用が不便になるのではないかと心配である。

4. 安全・安心

地域分断による安全性低下に関する懸念

- ・もととして区市の境界が複雑な地域であるが、外環の整備で、学区域が飛び地状に分断されてしまう。子供たちは通学時に外環を越えなければならなくなり、安全性が確保されるか心配である。

災害時の対応に関する懸念

- ・小学校などの施設は災害時の避難所に指定されているが、ジャンクション構造物で地域分断され、避難所までの経路が遠くならないようにしてほしい。

5. 工事中

工事中の交通規制に関する懸念

- ・工事で出る廃土を運搬する車両の行き来が心配である。工事車両の交通計画を作してほしい。工事車両の交通計画を都条例で規制することも考えられる。また、廃土の処理先も明確にしてほしい。
- ・外環工事にかわる工事車両が計画地から周辺に出てくるのが心配である。都市計画道路補助219号線などの道路を先に整備してから、そこを工事車両が通るような工事計画はできているのか。

工事中の環境悪化に関する懸念

- ・工事中の現場から砂ぼこりが発生して、周辺地域に飛んでくるのではないかと心配している。
- ・工事中の騒音、振動、粉塵対策にしっかりと取り組んで欲しい。特に、自宅が外環の計画地に近いので心配している。
- ・工事が夜間も含めて一日中行われて、騒音、振動、粉塵が一泊中続くのではないかと心配している。
- ・工事中の騒音が心配である。

- ・工事が完了するまで、工事の近隣対策などの決められたルールを守り、周辺住民に迷惑がかからないようにしてほしい。
- ・計画地の直近に住んでおり、工事がいっごう始まるのが心配している。工事中の影響によっては、引越しなども考えており、いっそのこと計画地に含まれていた方が移転できて良かったのではないかと考えている。

工事中の安全性低下に関する懸念

- ・工事関係の車両は、警察の許可を取って出入りすると思うが、警察の指導が行き届かないかもしれない。事故などが起きないか心配である。

6. 用地補償

移転先の確保や補償などへの懸念

- ・計画地内に住んでいる人と交友関係がある。近くに代替地が見つからずに遠くに引越してしまつと、近所づきあいがなくなってしまう。
- ・計画地に用地が多く含まれているが、土地の移転や自宅から墓地への経路が分断されることは嫌なのではないかと思う。代々守ってきた土地への愛着があると思う。

7. 計画検討の進め方

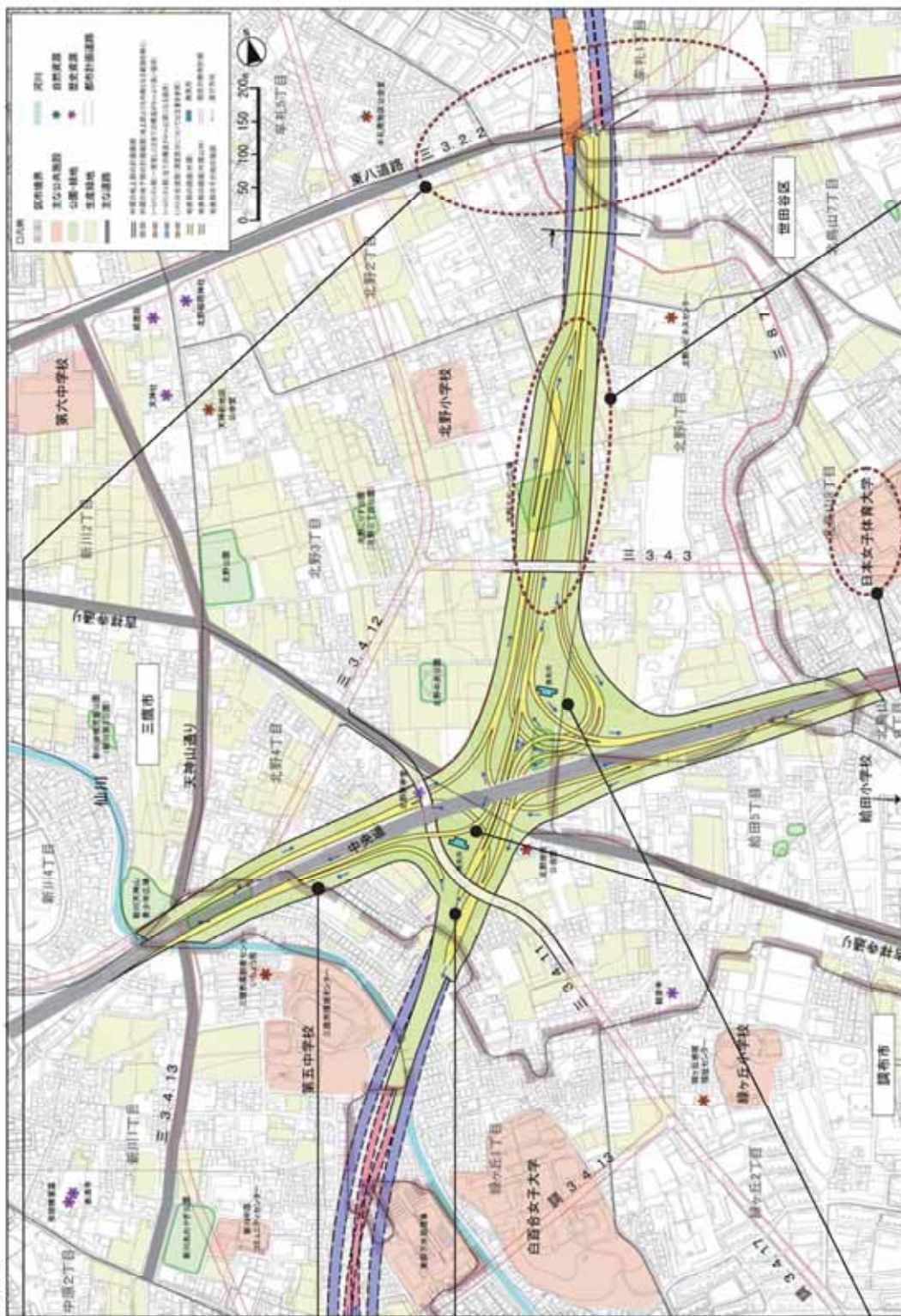
情報の提供

- ・東八の周辺の鳥山通りや吉祥寺通り、新設される都市計画道路などの交通量がどれくらいになるのか心配である。外環本線だけでなく、周辺の幹線道路の流れ、動線、交通量の増減などの交通予測をしてほしい。
- ・交通量予測調査で、甲州街道(国道20号)の交通量が減る予測値に疑問が残る。予測の根拠を教えてください。
- ・料金所や掘削部から出る騒音や排出ガスが多いのではないかと心配である。蓋かけなど構造上の検討をしてほしい。
- ・また、ジャンクションやインターチェンジを利用する車の台数が予測されているのだから、排出ガスの影響がどれくらいあるのかを予測してほしい。
- ・環境影響評価で、ジャンクション部の大気質への影響を予測しているが、その評価が正しいものであったかを検証するため、外環開通後に、予測と同じ場所ですべて公表することを確約してほしい。

その他

- ・測量の結果、現在示している区域が広くなる可能性があるのを知りたい。
- ・昭和49年当時の都市計画決定では、自宅が計画地に含まれていて、今回の都市計画変更で含まれなくなつたが、今後、さらに計画変更することがあるのか。その場合に、再度、自宅が計画地に含まれるのではないかと心配している。
- ・三鷹市に関する課題は三鷹市に任せさせていただいた方がよい。世田谷区が口を出すことではないと思う。
- ・世田谷区民が参加する検討会だから、使用する地図には、鳥山通りや寺町通りなどの世田谷区民に馴染みのある場所を入れてほしい。
- ・使用している地図では、計画地の地形や建物の現状がわからない。計画地の部分をセロファンにして現状の地図を重ねるなどの工夫をして、新旧比較しながら検討できる地図にしてほしい。

Dグループ(1/2) 場所を特定できる意見



東八道路インターチェンジ(仮称)部とその周辺

交通

東八道路の渋滞への懸念
・東八道路の設置により交通量が増加するため東八道路の渋滞化が懸念される。高井戸ICに上り口を設けるとにより東八道路の渋滞が緩和し、生活道路への通り抜けの減少も予想できるため、大気汚染や騒音、交通安全の面で改善も期待できる。

環境

排出ガスの影響への懸念
・東八道路周辺の排出ガスが現状で環境基準を超えているのではないかと心配である。東八道路をばしめ、主要地点の大気質の状態をおしえてほしい。

中央JCT

環境施設部

排出ガスの影響への懸念
・地域住民にとっては大気質の汚染が進んでいることが直ぐに認識できない不安がある。環境汚染の指標として、木柱の設置を提案できるような外環の環境施設部の緑地整備を提案する。

環境施設部

排出ガスの影響への懸念
・現計画では、換気所はトンネル内の排出ガスの処理のために設けられる施設であるため、オープンジャンクション部分から直接排出されるガスによる地域への影響が懸念される。できるかぎりジャンクション部の憂かけを行くとともに、排出ガスを最大限処理するための最新装置を換気所に設置する必要がある。

環境施設部

環境施設部の有効活用への期待
・ジャンクション部分にできるかぎり面を掛け、その上の空間を活用して、地域コミュニティのための緑化や公園整備を行ってほしい。
・ジャンクション上部に面を掛けて大きな環境施設部をつくれば、排出ガス対策や緑化だけでなく防災基地としても活用できる。高速道路と直結しているため災害物資の輸送などに有利であり、外環の価値を高めることができる。

日本女子体育大学

環境

排出ガスの影響への懸念
・都市計画補助219号線は、日本女子体育大学の敷地を通るため、三鷹都市計画道路3・4号線とジャンクション付近に交通が集中するため、大気質への影響も考慮して検討してほしい。

換気所

環境

換気所の機能に関する懸念
・トンネル内の排出ガスを換気所に集中させて適切に処理できるのか不安である。適切に処理するためには、換気所に最新の除塵脱臭装置を設ける必要がある。
・外環の整備に伴う期待
・換気塔からの排気が発電するなど、外環の整備によりプラスの効果が生まれるように考えるべきである。

用地補償に関する懸念

環境

用地補償に関する懸念
・都市計画補助219号線は、日本女子体育大学の敷地を通るため、三鷹都市計画道路3・4号線とジャンクション付近に交通が集中するため、大気質への影響も考慮して検討してほしい。
・都市計画補助219号線は、現計画のまま整備されれば日本女子体育大学の敷地を通りグラウンドが分断される。道路用地として買収された後に利用に供し土地が残ってしまう場合の補償について、事業主体の考え方を聞かせてほしい。
・地権者への説明や対応に関する懸念
・都市計画補助219号線による用地補償があっても現在の敷地の周りに代替地がなければ、大学(日本女子体育大学)の経営に影響が生じる懸念がある。建て替えを行えば解決できると思われる。大学は立地条件や施設の状況も経営に影響するため、施設の性格も考慮して都市計画補助219号線を再検討してほしい。

トンネル

環境

集中豪雨時の冠水に関する懸念
・集中豪雨により外環のトンネル内に冠水して危険にさらされる心配がある。排水対策は検討されているのか、おしえてほしい。
・排水対策は検討されているのか、おしえてほしい。
・排水対策は検討されているのか、おしえてほしい。

Dグループ(2/2) 場所を特定できない意見

1. 交通

生活道路網の整備による移動の利便性向上への期待

- ・当地区の道路網が外環の影響により渋滞が起ると外から通勤等で来る人にとっても困る。渋滞が起らない都市計画道路網にしてほしい。
- ・外環の整備に伴った公共交通機関に対する期待
- ・エリアライナー計画が進展しているのであれば、外環の地下空間を使った「外環ライナー」計画を検討してみてもどうか。それが実現すれば車を使わなくても南北方向の移動が便利になる。

都市計画道路網整備による利便性向上への期待

- ・自転車や歩行者の交通量が今後増えた場合でも、自転車と歩行者が円滑かつ安全に通行できる道路の整備と交通規制が必要である。
- ・都市計画道路網の整備に伴う用地補償について、地権者など権利関係者の合意形成が必要である。
- ・宮農者にとっては、用地買収によって不整形で小さな土地が残った場合、富農が受け継ぐ心配がある。
- ・移転先の確保や補償などへの懸念
- ・昭和三十四年に決められた都市計画道路網は、生活環境や施設経営(用地補償)の面で問題が生じると考えられる。したがって、交通ネットワークに配慮しつつ外環周辺の都市計画道路網(主に都市計画補助19号線)を見直ししてほしい。

都市計画道路網の整備による環境悪化に関する懸念

- ・昭和41年に決められた都市計画道路網は、生活環境や施設経営(用地補償)の面で問題が生じると考えられる。したがって、交通ネットワークに配慮しつつ外環周辺の都市計画道路網(主に都市計画補助19号線)を見直ししてほしい。

2. 環境

排出ガスの影響への懸念

- ・外環の排出ガスの影響による喘息の悪化が懸念されるため、排出ガス処理の最新技術を導入してほしい。
- ・東八道路の交通量が将来増加する予測結果が出ているため、周辺地域の空気質の深刻な悪化が懸念される。

測定調査の継続への依頼

- ・ジャンクションが供用されなければ外環の排出ガスの実際の影響はわからないため、供用開始後の環境影響の測定を定期的に実施してほしい。

影響予測調査への懸念

- ・幼稚園や学校など重要な場所を対象にした、外環による大気質の影響の予測調査が実施されているのか、実施済みとして、予測データが子供の健康上問題ないのか心配である。第一に、調査が行われているのかおしえてほしい。
- ・現時点の外環による環境影響の予測結果に満足するのではなく、より影響を低減するために、法改正も視野に入れて環境基準の厳格化を検討する必要がある。

外環の整備に伴う期待

- ・外環の地表部分に面しているのであれば、面白いソーラーパネルを貼るなどして積極的に外環整備によるメリットを生み出せるように。
- ・振動で発電する実験が他の事例で行なわれていることを踏まえ、外環の計画においても同様な取り組みを検討してみるべきである。電気は住民も利用できればよい。

排出ガス削減対策への期待

- ・法律の基準に従うだけでなく、排出ガスによる影響をより低減するための対策を検討していくことが重要である。

3. まちづくり

移動の利便性低下への懸念

- ・地域が分断されて交通利便性が悪くなるのが心配。今の生活動線やコミュニティの状況を尊重し地域の現状を詳しく調べ直して都市計画道路の位置や線形等を再検討すべき。

- ・外環の建設によって、目の前の場所に行きたくても遠回りしなければいけなくなり、利便性が悪くなるか心配である。

都市計画道路網の整備に関する懸念

- ・駅への交通、バス交通路など利便性はどうなるのか不安である。都市計画道路網は住民生活の動線を精査して再検討してほしい。

4. 安全・安心

都市計画道路網整備による安全性向上への期待

- ・自転車の交通量が今後増えた場合でも、自転車と歩行者が円滑かつ安全に通行できる道路の整備と交通規制が必要である。

6. 用地補償

地権者への説明や対応に関する懸念

- ・外環や周辺の都市計画道路の整備に伴う用地補償について、地権者など権利関係者の合意形成が必要である。
- ・宮農者にとっては、用地買収によって不整形で小さな土地が残った場合、富農が受け継ぐ心配がある。

移転先の確保や補償などへの懸念

- ・昭和三十四年に決められた都市計画道路網は、生活環境や施設経営(用地補償)の面で問題が生じると考えられる。したがって、交通ネットワークに配慮しつつ外環周辺の都市計画道路網(主に都市計画補助19号線)を見直ししてほしい。

7. 計画検討の進め方

情報の提供

- ・中央JCTの建設に伴う既存道路の見直しや新線整備予定の一般道路のルート・構造などについて、できるかぎり詳しく知りたい。
- ・都市計画補助19号線は、設計画のまま整備されれば日本女子体育大学の敷地を通りグラウンドが分断される。道路用地として買収された後に利用しにくい土地が残ってしまう場合の補償について、事業主体の考え方を訊かせてほしい。
- ・外環の排出ガスの影響について、幼稚園・学校だけでなく公園など不特定多数の人が集まる施設の詳しい予測データを住民等にわかりやすく伝えてほしい。
- ・吉祥寺通りが分断されることなどについて、三鷹や国分寺などの地域課題検討会で出された意見なども知りたい。他の地域住民と問題点や課題を共有できれば、認識の違いや共通点がわかるため、住民メンバーが改善案などを出しやすくなる。
- ・以前、ある民営の建築計画の際、住民側の出した提案が受け入れられた。外環の検討会でもメンバーの意見が反映されることを望む。
- ・環境影響の予測結果を詳しく知るためには、分厚い評価書をしっかりと読まなければならない。公告・電報などの中でわかりやすく説明を受けることができるように。

その他

- ・用語は誰でも分かるようにできるだけカナ文字を使わず、使う場合は日本語で補足してほしい。
- ・外環周辺の道路計画や不整形な土地が残る問題を含めた用地買収などが解決されていくためには、世田谷区が積極的に住民側に立ち、都との適切な役割分担のもとに協力し合っていく必要がある。
- ・中央自動車道と外環の管理主体が分かっていると、問題が生じた際に適切に対処できない場合があることが考えられるため、柔軟に対応できる管理計画を立てほしい。外環の管理主体が中央自動車道と同じであるのか知りたい。

Eゲループ(1/3) 場所を特定できる意見

■ 環境施設帯

環境施設帯の有効活用への期待

- ・鳥山8丁目より北目にはこれまであまり地域間の交流がなかったが、外環によって分析される可能性が出てきたことを契機に、絆が深まるよう、環境施設帯を利用した地域交流の場をつくりたい。
- ・環境施設帯の地域への開放を提案したいが、世田谷区は面積的にあまり広がっていないため、意見が反映されず、利用できる面積も限られるのではないかと危惧している。環境施設帯は国、都、区市のどこかの所有で、管理はどこがやるのか気になる。
- ・環境施設帯を地域で利用し管理していくために、里親制度のように国から区、市に管理が委託できるようなこととしたい。
- ・環境施設帯を、子どものスポーツ活動などに利用し、地域や親子のコミュニケーションの場として有効活用したい。
- ・環境施設帯を使った地域交流の場を作ること、将来的に地域住民の資産になるようなよいものを残したいと思っている。
- ・環境施設帯をきれいに管理していくために、地域の人に使われ、管理してもらえようとする必要がある。
- ・環境施設帯をネットで行くゴミの投げ入れで飛れてしまいうし、住民が清掃をたくとも中に入ることでもできないため、地域の人が管理できるようにネットで行うべきではないと思う。
- ・環境施設帯を使って車が横断する道を確保するのは難しくても、徒歩で渡れる道を確保できれば、通学の際などに利用でき、完全な地域分析を避けることができると思う。
- ・環境施設帯の有効利用として、地表面に自転車道や遊歩道を整備してほしい。

■ 換気所

換気所の高さや機能に関する懸念

- ・排出ガスに含まれる有害物質、とくに重金属に対する不安があるため、換気所のフィルター装置の性能が気になる。フィルター装置についての情報が知りたい。
- ・換気所の高さが15mでは低すぎ、風が強いときなどそのまま周辺地域に排気が下りてくるのではないかと、どのような方法で高さを決めているのか。

景観面に関する期待

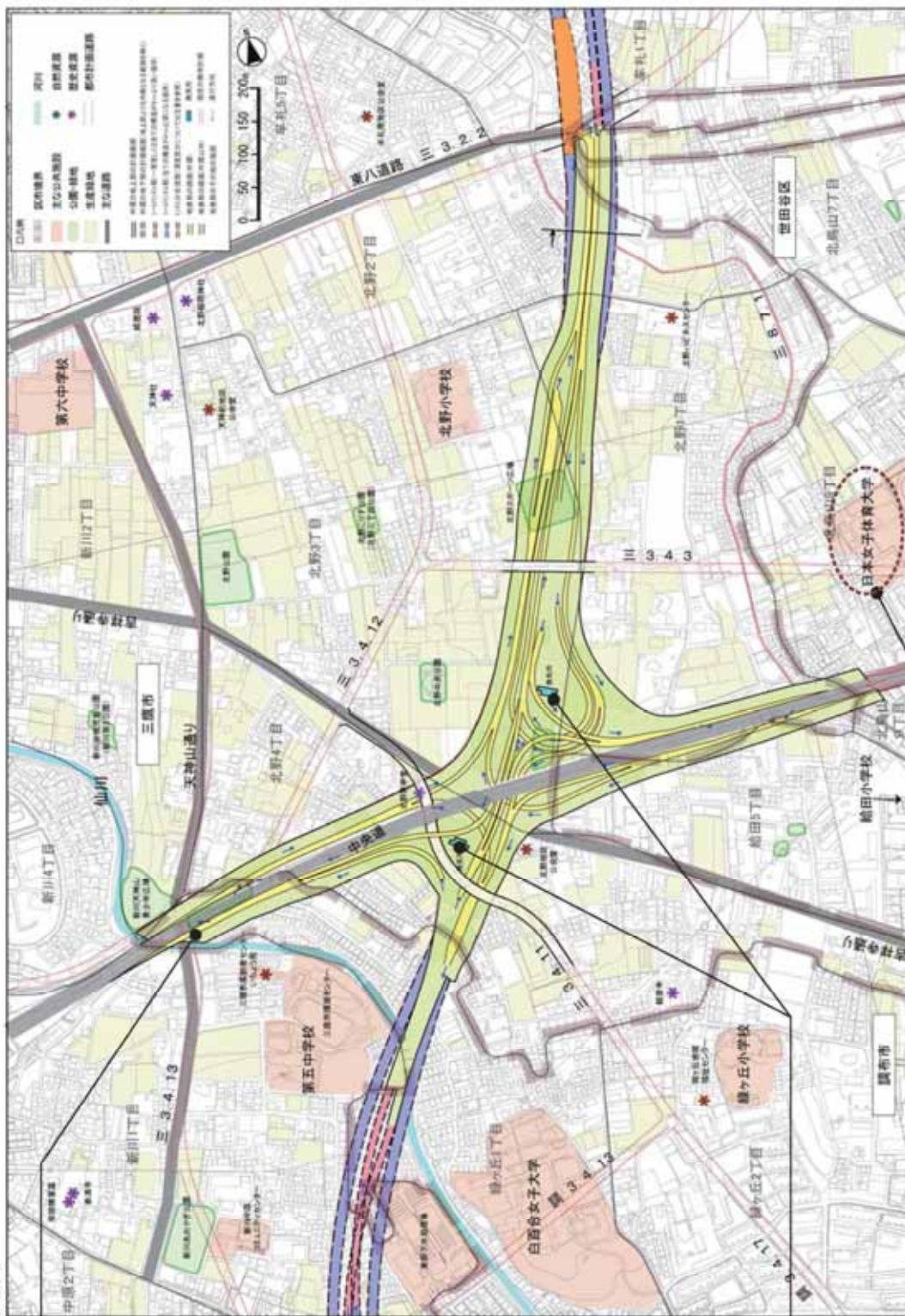
- ・換気所の高さは、低くても機能が十分に満たされるのであれば景観的には低い方がよい。

騒音による影響への懸念

- ・換気所の高さは低くても、排出ガスを100メートルまで吹き上げることができると聞いたが、吹き上げ装置の騒音は大丈夫なのか気になる。

継続的なデータ収集・解析に関する期待

- ・換気所が十分に機能しているか、継続的にチェックするために、将来にわたって排出ガス調査データを収集し解析してほしい。その解析結果も正確に情報開示し、他の場所の計画にも活用してほしい。



■ 日本女子体育大学

- 用地補償に関する懸念**
 - ・都市計画道路補助219号線が大学の敷地内を通るため、大学側としてはとても厳しいと感じている。ぜひ異なるルートで整備してほしい。
 - ・外環整備に伴い都市計画道路補助219号線が整備されると、日本女子体育大学の敷地が分断され、大学設置基準の、敷地面積等の基準を満たすことが難しくなり運営上問題となる。補償制度を早急に示してもらい、代替地を確保したい。

Eグループ(2/3) 場所を特定できる意見

■ 吉祥寺通り

吉祥寺通りの分断による利便性低下への懸念

- 吉祥寺通りが分断されるバス路線がなくなってしまうと、バスの便があることを前提にしている地域住民にとっては大きな損失になってしまう。日常生活の便を考え、バス通りとしての機能を確保する必要がある。
- 吉祥寺通りが分断されないように、三鷹都市計画道路3・4・11号線を環境緑地帯内で延ばし吉祥寺通りにつなげられたい。

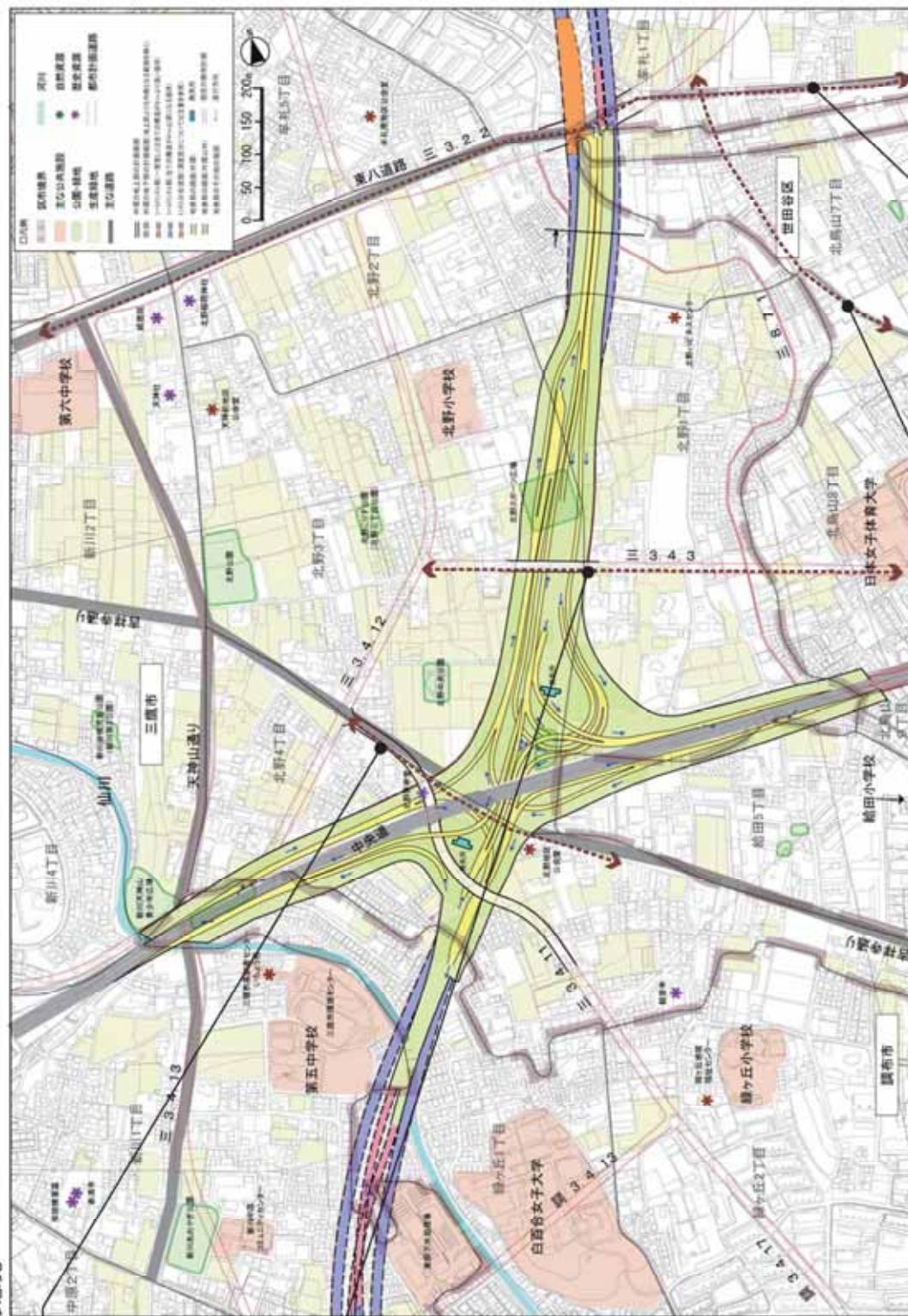
■ 都市計画道路補助219号線、217号線

都市計画道路の整備に関する懸念

- 都市計画道路補助219号線はなぜ必要なのかという理由が明らかでない。環境施設帯に新道を設ければ十分ではないのか。
- 都市計画道路補助219号線のルートはどうして大学にかかるような現況の形に決めたのかかわからない。理由があるのならきちんと説明してほしい。
- 都市計画道路補助219号線のルートは大学のように大きな敷地は避けるべきではないか。

都市計画道路の整備による地域分断への懸念

- 外環整備に伴い都市計画道路補助219号線を新たに整備されると地域生活が成り立たない。新たに整備するのではなく、中央JCT敷地内に道路を新設するなど、周辺地域への影響を小さくする工夫をしてほしい。
- 外環整備に伴い都市計画道路補助219号線を新たに整備するのであれば地域への影響が少なくなるよう地下にするのはどうか。どこで地上に出すかは問題だが。



■ 鳥山通り

鳥山通りの渋滞への懸念

- 東八道路から甲州街道(国道20号)へ向かう車は鳥山通りに集中し、鳥山通りが渋滞することが明白であるため鳥山通りを再整備する必要がある。
- 東八道路周辺の渋滞が懸念される。世田谷区は、鳥山通りの整備方針を決めた上で、計画を進めるべきである。
- 東八道路の都市計画道路補助216号線、217号線はIC完成時に整備されているが不明な点が多い。既存の鳥山通りの幅員が、将来的に、将来的にも現実的対策案だと思える。
- 都市計画道路補助216号線、217号線が整備されたとしても、東八道路の位置から考えると甲州街道(国道20号)へ抜けるには遠回りになるため、より近い鳥山通りを扱う人の方が多いのではないか。都市計画道路に加え、鳥山通りの整備を考えるべきである。

■ 東八道路

東八道路周辺の渋滞への懸念

- インターチェンジが東八道路1カ所だと、そこから甲州街道(国道20号)へ向かう車は鳥山通りなどを通ることになり、今以上に渋滞がひどくなる。ジャンクションから甲州街道(国道20号)へ出たい人々のために甲州街道(国道20号)側にもインターチェンジが必要である。
- 東八道路完成後に鳥山通りに車が流入することを懸念している。そのため都市計画道路補助216号線、217号線の整備を東八道路に合わせ進めるべきである。
- 東八道路完成後に鳥山通りに車が集中し、鳥山通りの整備を必要とする必要もあるのではないか。

鳥山通りの安全性低下への懸念

- 鳥山通りは、徒歩や自転車を利用する児童・生徒が多く、車が増えれば交通事故の発生が強く懸念される。安全確保のための対応策が必要である。
- 鳥山通りは狭い歩道を自転車と歩行者が利用しており、子供たちの安全を考えると新たな道路をつくるよりも鳥山通りを改良するべきである。

Eグループ(3/3) 場所を特定できない意見

1. 交通

交通	周辺道路整備への期待
- 現在も東八道路、鳥山通り、吉祥寺通りの渋滞を避ける生活道路に車が流入している。インターチェンジの出入り口ができれば渋滞しなくなりその状況は悪化する。外環整備と平行して周辺道路の整備が絶対必要条件である。 - 外環整備と平行して、都市計画道路や主要道路(東八道路、吉祥寺通り、甲州街道、鳥山通り)の整備を行い、今よりも快適な生活環境をつくってほしい。	- 将来増加交通量に関する懸念 - 外環ができたときの周辺主要道路の交通量は大幅に増えると思うが、交通量の変化はどのようなものか。 - 渋滞回避のためのソフト対策への期待 - 東八道路の一極集中や周辺道路の渋滞を回避するため、道路整備だけでなくソフト対策も必要だと思う。例えば、外環利用車が中央自動車道の永瀬町料金所や横須川料金所に入る場合は外環通行料のみということになれば、東八道路に車が集中しないと思う。

2. 環境

環境	緑地の保全に関する懸念
- 緑が多い地域であるが、中央JCT、東八道路ができてそこで多くの多くが失われることが懸念である。そうならないように復元してほしい。 - 地下水枯渇に関する懸念 - 工事により、地下水脈(みずみち)が分断されることが懸念される。保全対策を考えるべきである。	- 緑地の保全に関する懸念 - 緑が多い地域であるが、中央JCT、東八道路ができてそこで多くの多くが失われることが懸念である。そうならないように復元してほしい。 - 地下水枯渇に関する懸念 - 工事により、地下水脈(みずみち)が分断されることが懸念される。保全対策を考えるべきである。

3. まちづくり

まちづくり	沿道の建築規制に関する懸念
- 鳥山通りを拡張するにしても、片側はすでにマンションが立ち並び、もう一方も道路後退できるのが疑問である。拡張するのなら、沿道の建築規制を早い段階から行う必要があるのではないかと。 - 高齢化に配慮したまちづくりへの期待 - 地域が高齢化していくことを踏まえ、車がなくても移動がしやすく、歩いても移動ができるということを意識したまちづくりを考えるべきではないか。 - 代替道路整備に関する懸念 - これまでの生活道路が外環整備により広範囲にわたりなくなり生活が窮乏化していく。これまでの生活ができるような代替道路の整備が必要である。 - 地域分断に関する懸念 - 地域が分断されると、より近くに学校があっても区市が遠くで外環をまたいで通学しなければならぬ児童、生徒が出てきてしまう。三鷹市民であっても世田谷区の学校に通えるようになった。区市を越えた通学も必要ではないか。 - すでにコミュニティができており、祭りや町会活動なども異なっている。なかなか難しい面もあるが、外環による分断が発生することを踏まえ、行政区の区分けを新たに考える必要もある。 - 地域が分断されることでコミュニティが壊れてしまうのではないかと心配である。	- 沿道の建築規制に関する懸念 - 鳥山通りを拡張するにしても、片側はすでにマンションが立ち並び、もう一方も道路後退できるのが疑問である。拡張するのなら、沿道の建築規制を早い段階から行う必要があるのではないかと。 - 高齢化に配慮したまちづくりへの期待 - 地域が高齢化していくことを踏まえ、車がなくても移動がしやすく、歩いても移動ができるということを意識したまちづくりを考えるべきではないか。 - 代替道路整備に関する懸念 - これまでの生活道路が外環整備により広範囲にわたりなくなり生活が窮乏化していく。これまでの生活ができるような代替道路の整備が必要である。 - 地域分断に関する懸念 - 地域が分断されると、より近くに学校があっても区市が遠くで外環をまたいで通学しなければならぬ児童、生徒が出てきてしまう。三鷹市民であっても世田谷区の学校に通えるようになった。区市を越えた通学も必要ではないか。 - すでにコミュニティができており、祭りや町会活動なども異なっている。なかなか難しい面もあるが、外環による分断が発生することを踏まえ、行政区の区分けを新たに考える必要もある。 - 地域が分断されることでコミュニティが壊れてしまうのではないかと心配である。

4. 安全・安心

安全・安心	集中豪雨によるトンネル内の浸水や周辺地域の冠水被害に関する懸念
- 雨水をくみ上げた後の排水先が山川だとしたら、最近では水がきれいに引いてきているので、排水によってまた汚染されないように対応してほしい。 - 鳥山川が、暗渠化で流量が減ったためか、中央自動車道ができてから氾濫し浸水被害がでるようになってしまった。外環整備後も同様の被害がでるのではないかと懸念している。 - 甲州街道ができてから付近が冠水するようになってしまった。外環整備後も同様の被害が出るのではないかと懸念している。 - 雨水に対する対応基準が現状のものではないのではないかと懸念している。この地域の土壌は浅い所に粘土層がありそこに水が溜まるため、環境施設帯で吸収できる量が多いとは言えない。雨の日に道路が通行止めになれば、周囲の道に車が溢れて渋滞を引き起こす要因になる。また、車の浸水事故などが起きないように、通行上の安全面からも雨水排水の対応策を考えるべきである。 - 外環の整備に伴う排水計画について心配している。最近では大雨も多くなってきているので、たとえば10年に1回、5年に1回程度であっても、大雨の際には十分対応できるような計画にすべきである。 - 排水計画について、市民が理解し納得できる説明をしてほしい。排水については今後の検討課題だと言うが、このあたりでは排水先がないのではないかと懸念している。地域の地盤特性などを十分に調査した上で、きちんと考えて計画してほしい。	- 集中豪雨によるトンネル内の浸水や周辺地域の冠水被害に関する懸念 - 雨水をくみ上げた後の排水先が山川だとしたら、最近では水がきれいに引いてきているので、排水によってまた汚染されないように対応してほしい。 - 鳥山川が、暗渠化で流量が減ったためか、中央自動車道ができてから氾濫し浸水被害がでるようになってしまった。外環整備後も同様の被害がでるのではないかと懸念している。 - 甲州街道ができてから付近が冠水するようになってしまった。外環整備後も同様の被害が出るのではないかと懸念している。 - 雨水に対する対応基準が現状のものではないのではないかと懸念している。この地域の土壌は浅い所に粘土層がありそこに水が溜まるため、環境施設帯で吸収できる量が多いとは言えない。雨の日に道路が通行止めになれば、周囲の道に車が溢れて渋滞を引き起こす要因になる。また、車の浸水事故などが起きないように、通行上の安全面からも雨水排水の対応策を考えるべきである。 - 外環の整備に伴う排水計画について心配している。最近では大雨も多くなってきているので、たとえば10年に1回、5年に1回程度であっても、大雨の際には十分対応できるような計画にすべきである。 - 排水計画について、市民が理解し納得できる説明をしてほしい。排水については今後の検討課題だと言うが、このあたりでは排水先がないのではないかと懸念している。地域の地盤特性などを十分に調査した上で、きちんと考えて計画してほしい。

5. 工事中

工事中	工事中の環境悪化に関する懸念
工事中の環境対策がどのようなものか。工事車両、騒音、渋滞などの影響が心配である。	- 工事中の環境悪化に関する懸念 - 工事車両、騒音、渋滞などの影響が心配である。

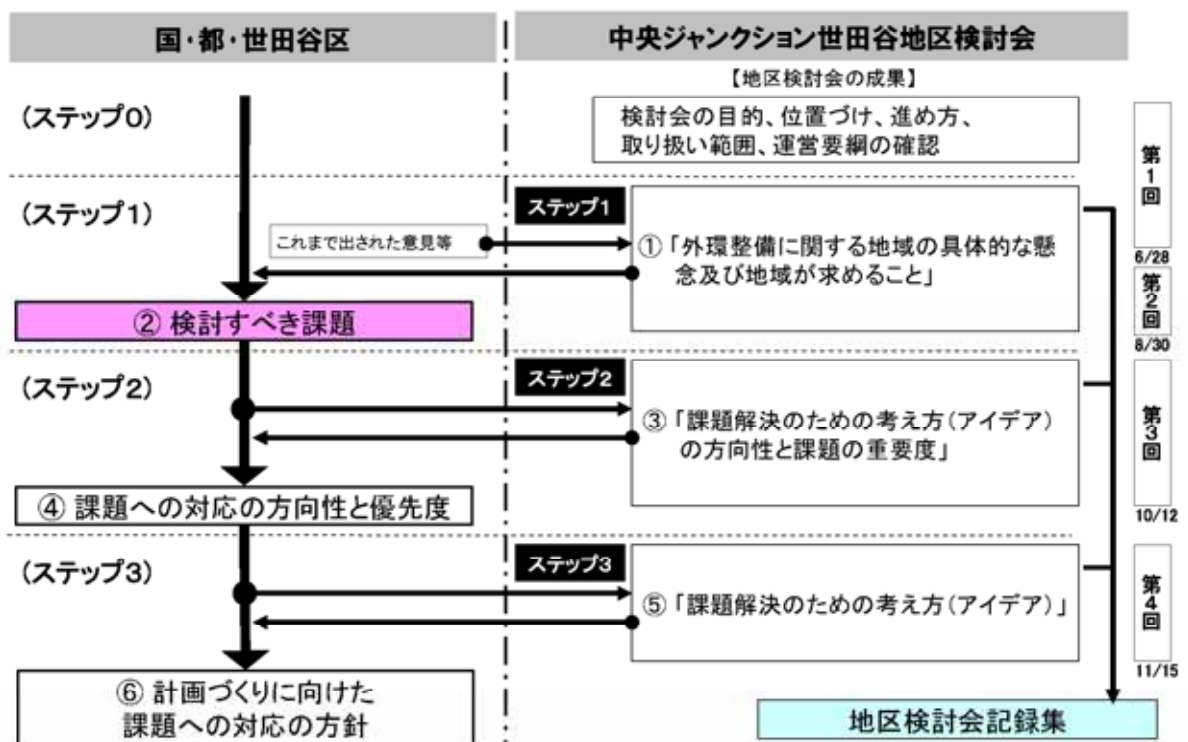
6. 用地補償

用地補償	用地補償、クレーン補償に関する懸念
- 都市計画図面で見ると、都市計画図面が敷地にはかかっているが建物にはかかっていない状況である。敷地の一部だけ削られると車の置き場や車の出入りがでなくなる。高齢なので早急に対応を考えたが、計画図が確定ではないので対策が立てられない。 - 住宅などの建築中に外環工事による被害が出たときのクレーン補償の対応がどのようなものか心配である。クレーン補償に対応してほしい。	- 用地補償、クレーン補償に関する懸念 - 都市計画図面で見ると、都市計画図面が敷地にはかかっているが建物にはかかっていない状況である。敷地の一部だけ削られると車の置き場や車の出入りがでなくなる。高齢なので早急に対応を考えたが、計画図が確定ではないので対策が立てられない。 - 住宅などの建築中に外環工事による被害が出たときのクレーン補償の対応がどのようなものか心配である。クレーン補償に対応してほしい。

7. 計画検討の進め方

計画検討の進め方	計画検討全般
- 生活道路を再整備し、すっきりした道路網を検討すべきである。 - 今計画されている都市計画道路では中央JCT周辺の渋滞解消はできないのではと思う。道路単体ではなく、もっと広いエリアを一体的に、道路網として考えて計画してほしい。	- 意見記録 - 鳥山通りに関する意見はどのように反映されるのか教えてほしい。意見を聞き置くだけでなく整備に反映させてほしい。 - これまでは地域の問題に対して、住民の意見がほとんど通らなかったと感じているため、検討会に出ることもためらったが、言うべきことは言おうと思う。今回は住民の意見がきちんと計画に反映されることを望んでいる。 - 中央JCTの敷地はほとんど三鷹市なので、面積の少ない世田谷の意見があまり反映されないのではと懸念している。 - 情報の提供 - 換気所の高さが15mでは低すぎ、風が強いときなどそのまま周辺地域に排気が下りてくるのではないかと、どのような方法で高さを決めていくのか。 - 換気所が十分に機能しているか、継続的にチェックするために、将来にわたって排出ガス調査データを収集し解析してほしい。その解析結果も正確に情報開示し、他の場所の計画にも活用してほしい。 - 環境施設帯を地域住民が利用できるようにしてほしいと考えているので、利用方法を提案するために、使える場所や時間帯を絞ってほしい。 - 排水計画について、説明してほしい。排水については今後の検討課題だと言うが、このあたりでは排水先がないのではないかと懸念している。地域の地盤特性などを十分に調査した上で、きちんと考えて計画してほしい。 - 模型を見なくても図面上で立体感がイメージできるよりにして欲しい。ここはランプの下がくぐれる、ここはランプに蓋がけができるといったことが判断でき、住民の関心が高い渋滞問題などのお叱りを受けるために役立ちと思う。 - 見やすく、議論がしやすい図面になるように、ランプの下がくぐれる部分、ランプに蓋がけできる部分などを色分けし、レイヤーも分けるといった工夫がされるとよい。 - 現状の検討図面では、世田谷区側が少ししか含まれていないので議論しづらい。そのため、もっと両側も含めた図面にしてほしい。

【主催者】
検討すべき課題



中央ジャンクション世田谷地区検討会

検討すべき課題

【本資料について】

- ・この『検討すべき課題』は、中央ジャンクション世田谷地区検討会においてステップ1の成果としてとりまとめられた『外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること』を受けて、主催者が整理したものです。
- ・地区検討会で頂いた懸念や期待について、主催者である国・都・区が、外環事業やまちづくりを検討する上でそれぞれの立場から現時点で認識した内容を示しています。

中央ジャンクション世田谷地区検討会 主催者

(国土交通省・東京都・世田谷区)

中央ジャンクション世田谷地区検討会

『検討すべき課題』 目次

1. 交通	1
(1) 地区交通	
(2) 幹線交通	
2. 環境	2
(1) 大気質	
(2) 騒音・振動	
(3) 地下水	
(4) 緑の量	
(5) 景観	
3. まちづくり	5
(1) まちづくり全般	
(2) 地域分断	
(3) 土地利用	
4. 安全・安心	7
(1) 交通安全・治安	
(2) 災害・事故時の対応	
5. 工事中	9
(1) 工事中の交通への影響	
(2) 工事中の環境への影響	
(3) 工事中の安全性	
6. 用地・補償	10
7. 計画検討の進め方	11
(1) 計画検討全般	
(2) 意見反映	
(3) 情報の提供	

1. 交通

(1) 地区交通

【検討すべき課題】

- ・生活道路に通り抜け車両などの交通量が増え、住宅街での渋滞が発生するのではないかと懸念
- ・周辺道路の整備により、周辺地域の移動の利便性が向上することへの期待

○関連する意見例

- ・吉祥寺通りが分断されることにより、生活道路に通過車両が進入してくるのではないかと懸念。
- ・白百合学園通りは、道路幅が狭いが、抜け道に利用する車の交通量が多く、大きい車両も通っている。現在よりも交通が混雑するのではないかと心配である。
- ・現在も東八道路、烏山通り、吉祥寺通りの渋滞を避け生活道路に車が流入している。インターチェンジの出入りができれば間違いなくその状況は悪化する。
- ・外環境界部にある土地は接続道路がなく不便になる。
- ・現在、中央自動車道の側道が変則的で使いにくい(三鷹市内は側道が高速道路の片側で交互通行、世田谷区内は両側でそれぞれ一方通行)。
- ・中央自動車道の側道は、利便性が高く、地域住民が利用する主要な道路である。分断されて通れなくなることが心配である。
- ・当地区の道路網が外環の影響により渋滞が起これと外から通勤等で来る人にとっても困る。
- ・自転車の利便性向上と的確な交通対策を図ることにより、外環を含めた地域交通の問題解決に役立つことが期待できる。

(2) 幹線交通

【検討すべき課題】

- ・烏山通りや東八道路インターチェンジ周辺の道路の混雑についての懸念
- ・外環や周辺道路の整備により、周辺道路の混雑が緩和することへの期待

○関連する意見例

- ・東八 IC ができて、交通量が増えるが、周辺道路が未整備なので渋滞が起こることが心配である。
- ・都市計画道路補助 219 号線と烏山通り・中央自動車道の側道との交差点は鋭角に交差する危険な交差点になることにより、交通事故や大渋滞が発生することを懸念している。
- ・東八 IC を利用する交通が甲州街道に流れるため、吉祥寺通り、烏山通りなど甲州街道(国道 20 号)につながる道路が現状以上に渋滞することが懸念される。
- ・道路整備は計画通りに進まないことが多く、工期が長期化することが懸念される。それに伴う費用の増加や道路特定財源の一般財源化に伴い財源が確保されない場合、利用料金が高くなる可能性がある。利用料が高くなると利用率が計画より下回り、計画通りに地域内の交通が減少しない可能性があり、それによる地域環境の悪化が懸念される。
- ・インターチェンジが東八道路 1 カ所だと、そこから甲州街道(国道 20 号)へ向かう車は烏山通りなどを通ることになり、今以上に渋滞がひどくなる。
- ・外環や周辺道路の整備により、甲州街道などの交通量が緩和される効果を期待している。
- ・都市計画道路網の整備において自転車専用レーンを設置することによって主要道路の渋滞解消を図ることができるため、交通利便性の改善が期待できる。
- ・自転車の交通量が今後増えた場合でも、自転車と歩行者が円滑かつ安全に通行できる道路の整備が必要である。
- ・外環整備と平行して、都市計画道路や主要道路(東八道路、吉祥寺通り、甲州街道(国道 20 号)、烏山通り)の整備を行い、今よりも快適な生活環境をつくってほしい。

2. 環境

(1) 大気質

【検討すべき課題】

- ・ジャンクション・インターチェンジや換気所、周辺道路などから発生する排出ガスによる大気質への影響についての懸念
- ・換気所の高さや機能に関する懸念

○関連する意見例

- ・中央JCTのオープン部分からの排出ガスが心配だ。
- ・外環整備に伴い、大気質が悪化することを懸念する。
- ・換気所周辺の大気質が悪化するのではないかと。特に停電等の事故時に電気集塵機の故障で排出ガスが処理されずに周辺への影響が増加することが心配である。
- ・ジャンクションからの排気が心配。
- ・外環整備に関係する既存主要道路(吉祥寺通り、鳥山通りなど)の交通量が増加して環境悪化(空気汚染、騒音)することが心配である。
- ・換気所が2箇所計画されており、大気汚染が起こるのではないかと心配である。
- ・トンネル出口付近に排出ガスがたまるといけないかと心配である。
- ・ジャンクションやインターチェンジの経路が複雑で、ランプ部や料金所で渋滞が発生して、排出ガスの排出量が多くなるのではないかと心配である。
- ・ジャンクションやインターチェンジの経路が複雑でアップダウンも激しいので、アクセルを踏む回数が増えて、その分、排出ガスの排出量が多くなるのではないかと心配である。
- ・現状でも中央自動車道を通る車の排出ガスで干渉している洗濯物が汚れることがある。外環が整備されるとさらに排出ガスの影響が激しくなるのではないかと心配である。
- ・料金所や掘割部から出る騒音や排出ガスが多いのではないかと心配である。
- ・交通量が将来増える東八道路の周辺地域において、大気質の深刻な悪化が懸念される。
- ・現計画では、換気所はトンネル内の排出ガスの処理のために設けられる施設であるため、オープンのジャンクション部分から直接排出されるガスによる地域への影響が懸念される。
- ・幼稚園や学校など重要な場所を対象にした、外環による大気質の影響の予測調査が実施されているのか、実施済みだとして、予測データが子供の健康上問題ないのか心配である。
- ・換気所の高さが他の地域より低く、周辺に排出ガスの影響が増えるのではないかと心配である。
- ・外環の排出ガスの影響による喘息の悪化が懸念されるため、排出ガス処理の最新技術を導入してほしい。
- ・トンネル内の排出ガスを換気所に集中させて適切に処理できるのか不安である。
- ・排出ガスに含まれる有害物質、とくに重金属に対する不安があるため、換気所のフィルター装置の性能が気になる。
- ・換気所の高さが15mでは低すぎ、風が強いときなどそのまま周辺地域に排気が下りてくるのではないかと。
- ・換気所が十分に機能しているか、継続的にチェックするために、将来にわたって排出ガス調査データを収集し解析してほしい。

(2) 騒音・振動

【検討すべき課題】

- ・換気所から発生する騒音や振動、低周波音による影響についての懸念
- ・中央ジャンクション周辺地域での騒音や振動による影響についての懸念

○関連する意見例

- ・換気所は騒音を発生するのではないかと心配である。
- ・換気所から排出ガスを放出する際に低周波音が発生するが、その対策はできているのか心配である。
- ・換気所から上空に排気ガスを吹上げるときに風圧が高くなり風きり音が出ると思うので、影響評価を実施しているのであればデータを示してほしい。実施していないのであれば、追加調査してほしい。
- ・料金所や掘割部から出る騒音や排出ガスが多いのではないかと心配である。
- ・換気所の高さは低くても、排出ガスを100メートルまで吹き上げることができると聞いたが、吹き上げ装置の騒音は大丈夫なのか気になる。
- ・中央JCTのオープン部分からの騒音悪化を心配している。
- ・ジャンクションからの騒音が心配。
- ・外環整備に関係する既存主要道路(吉祥寺通り、烏山通りなど)の交通量が増加して環境悪化(空気汚染、騒音)することが心配である。
- ・中央自動車道から3kmほど離れたところに住んでいるが、冬の明け方など静かな時間帯には車を通る音が聞こえる。ジャンクションの近くに住む人たちは、騒音による影響が出るのではないかと心配である。
- ・現状でも中央自動車道を通過する車の騒音や振動があるが、外環の整備後にどの程度の影響が出るのかを知りたい。
- ・ランプが高架になる箇所の下では低周波音が発生するが、その対策はできているのか心配である。

(3) 地下水

【検討すべき課題】

- ・地下構造物による地下水や湧水への影響についての懸念

○関連する意見例

- ・現在でも使われている井戸水等の地下水脈が外環工事により潤れることを心配している。
- ・災害時に生命線となる井戸が外環整備により影響があることを心配している。
- ・この地域には水脈があり、外環工事で水脈が切れて井戸水などに影響があるのではないかと心配である。
- ・高源院には湧水があり、外環工事で水脈に影響が出て、枯れてしまわないかと心配である。高源院の湧水は影響評価調査の対象に入っているのか。
- ・工事により、地下水脈(みずみち)が分断されることが懸念される。

(4) 緑の量

【検討すべき課題】

- ・地域の緑が減少するのではないかと懸念

○関連する意見例

- ・外環の整備は地域の緑が減少してしまうのではないかと心配している。
- ・緑多い地域であるが、中央JCT、東八ICができることでその多くが失われることが懸念である。

(5) 景観

【検討すべき課題】

- ・換気所の高さを抑えることにより、良好な景観が形成されることへの期待

○関連する意見例

- ・換気所の高さは、低くても機能が十分に満たされるのであれば景観的には低い方がよい。

3. まちづくり

(1) まちづくり全般

【検討すべき課題】

- ・環境施設帯の有効活用への期待
- ・ジャンクション部利用の工夫などにより外環整備によってメリットが享受できる計画となることへの期待

○関連する意見例

- ・生活道路の通行機の確保とともに、地域の人が楽しく散歩できるよう、環境施設帯に遊歩道や自転車道を設ける。
- ・この地域にはグラウンドなど、区の施設が少ない。中央高速道の高架下が野球などに使われており、そういった地域の需要があると思う。
- ・ジャンクション部分にできるかぎり蓋をかけ、その上の空間を活用して、地域コミュニティのための緑化や公園整備を行ってほしい。
- ・ジャンクション上部に蓋をかけて大きな環境施設帯をつくれば、排出ガス対策や緑化だけでなく防災基地としても活用できる。
- ・烏山8丁目と9丁目はこれまであまり地域間の交流がなかったが、外環によって分断される可能性が出てきたことを契機に、絆が深まるよう、環境施設帯を利用した地域交流の場をつくりたい。
- ・環境施設帯を使った地域交流の場を作ること、将来的に地域住民の資産になるようなよいものを残したいと思っている。
- ・環境施設帯を使って車が横断する道を確保するのは難しくても、徒歩で渡れる道が確保できれば、通学の際などに利用でき、完全な地域分断を避けることができると思う。
- ・環境施設帯の有効利用として、地表部に自転車道や遊歩道を整備してほしい。
- ・外環が整備されることにより渋滞が解消されて、エネルギーの有効利用につながることを期待する。
- ・外環の地表部分に覆いをするのであれば、覆いにソーラーパネルを貼るなどして積極的に外環整備によるメリットを生み出せるとよい。
- ・換気塔からの排気で発電するなど、外環の整備によりプラスの効果が生まれるように考えるべきである。
- ・振動で発電する実験が他の事例で行なわれていることを踏まえ、外環の計画においても同様な取り組みを検討してみるべきである。

(2) 地域分断

【検討すべき課題】

- ・地域のコミュニティが分断するのではないかと懸念
- ・吉祥寺通りが分断され、歩行者、バス等の移動の利便性が低下するのではないかと懸念
- ・通学路が分断されるのではないかと懸念

○関連する意見例

- ・第六中学校の通学路の分断を解消するため、北野1丁目と2丁目の間の通行機能を確保する。
- ・外環の整備によって北野3丁目、4丁目と給田5丁目間の通行が分断されることが心配である。
- ・これまでの生活道路が外環整備により広範囲にわたりなくなると生活が成り立たない。
- ・地域が分断されることでコミュニティが崩れてしまうのではないかと心配である。

- ・中央道側道が分断されることにより、不便になる。
- ・吉祥寺通りが分断されることにより、三鷹から烏山方面への移動が不便になる。
- ・吉祥寺通りと中央道側道の2本の道路が使えなくなることにより、生活道路に通過交通が入ってくると怖い。
- ・吉祥寺通りの分断による不便を解消するために、自転車・歩行者のアクセス動線を確保してほしい。
- ・生活道路が分断されてしまう。
- ・外環により生活道路が分断されるので利便性を確保するために環境施設帯に側道を作してほしい。
- ・吉祥寺通りの分断を解消するため、吉祥寺通りから側道で三鷹都市計画道路 3・4・11 号線につながるとともに、調布都市計画道路 3・4・17 号線を同時に整備し、甲州街道(国道 20 号)までつなげる。
- ・中川遊歩道は、千歳烏山駅周辺まで続く歩行者専用道路である。散歩で利用しているが、分断されて通れなくなるのではないかと心配である。
- ・仙川沿いの遊歩道は、護岸ブロックで整備されたため親水性はないが、散歩する人が多い。遊歩道が分断されるとさらに魅力が低下してしまうのではないかと心配である。
- ・もともと区市の境界が複雑な地域であるが、外環の整備で、地域が分断されて各区市の公共施設などの利用が不便になるのではないかと心配である。
- ・外環の建設によって、目の前の場所に行きたくても遠回りしなければいけなくなり、利便性が悪くならないか心配。
- ・北野小学校の通学路を確保する。
- ・都市計画道路補助 219 号線と都市計画道路補助 217 号線は、住宅地の真ん中を通ることになり、通学路の分断やコミュニティの分断が起こるのではないかと心配である。
- ・地域が分断されると、より近くに学校があっても区市が違うので外環をまたいで通学しなければならない児童、生徒が出てきてしまう。

(3) 土地利用

【検討すべき課題】

- ・外環整備による、インターチェンジ・ジャンクション周辺部における土地利用の変化についての懸念

○関連する意見の例

- ・東八 IC ができることにより、周辺の農地が物流センターに変わるなど土地利用が変化するのではないかと心配。
- ・地価の低下を防止するため、特に地価下落が予想される給田 5 丁目など第一種低層住居専用地域の用途地域の見直しを行い、建ぺい率および容積率を上げる。

4. 安全・安心

(1) 交通安全・治安

【検討すべき課題】

- ・通学路や生活道路の交通量が増え、交通事故が増加するなど交通の安全性が低下するのではないかと懸念
- ・都市計画道路の整備等により、安全な歩行空間が確保されることへの期待

○関連する意見例

- ・現在、地区内道路は歩道が未整備であり、インターができて交通量が増えたとき、安全面で不安がある。
- ・生活道路に抜け道利用などの通過交通が増え、交通事故も増えるのではないかと心配である。
- ・烏山通りは、徒歩や自転車を利用する児童・生徒が多く、車が増えれば交通事故の発生が強く懸念される。安全確保のための対応策が必要である。
- ・烏山通りは狭い歩道を自転車と歩行者が利用しており、子供たちの安全を考えると新たな道路をつくるよりも烏山通りを改良するべきである。

- ・都市計画道路補助 219 号線沿いは、真暗なので、道路整備と合わせて、街路灯を整備してほしい。

(2) 災害・事故時の対応

【検討すべき課題】

- ・集中豪雨により、トンネル内の浸水や周辺地域の冠水被害が発生するのではないかと懸念
- ・災害発生時の避難路が確保できないのではないかと懸念
- ・ジャンクション・インターチェンジにおける交通事故の発生に関する懸念
- ・地震発生時の耐震性に関する懸念

○関連する意見例

- ・地域の雨水排水に影響が出ないよう、排水計画を踏まえた整備とする。
- ・集中豪雨により外環のトンネル内が冠水して危険にさらされる心配がある。
- ・烏山川が、暗渠化で流量が減ったためか、中央自動車道ができてから氾濫し浸水被害がでるようになった。外環整備後も同様の被害がでるのではないかと懸念している。
- ・甲州街道ができてから付近が冠水するようになったため、外環整備後も同様の被害が出るのではないかと懸念している。
- ・雨水に対する対応基準が現状のものでは甘いのではないかと懸念している。この地域の土壌は浅い所に粘土層がありそこに水が溜まるため、環境施設帯で吸収できる水量が多いとは言えない。雨の日に道路が通行止めになれば、周囲の道に車が溢れて渋滞を引き起こす要因になる。
- ・外環の整備に伴う排水計画について心配している。
- ・排水については今後の検討課題だと言うが、このあたりでは排水先がないのではないかと懸念している。
- ・排水計画について、説明してほしい。排水については今後の検討課題だと言うが、このあたりでは排水先がないのではないかと懸念している。地域の地盤特性などを十分に調査した上で、きちんと考えて計画してほしい。
- ・小学校などの施設は災害時の避難所に指定されているが、ジャンクション構造物で地域分断され、避難所までの経路が遠くならないようにしてほしい。

- 中央 JCT の構造が複雑であることにより、中央 JCT 内の走行が危険である。
- ジャンクションやインターチェンジの経路が複雑で、事故が起こるのではないかと心配である。
- 他地域の地震で道路が倒壊しているため、構造物の耐震性がとても不安である。

5. 工事中

(1) 工事中の交通への影響

【検討すべき課題】

- ・ 工事車両が走行することによる周辺地域への影響についての懸念

○関連する意見例

- ・ 工事中の工事車両は相当多いのではないか。地域交通への影響を懸念する。
- ・ 工事に出る残土を運搬する車両の行き来が心配である。
- ・ 外環工事にかかわる工事車両が計画地から周辺に出てくるのが心配である。

(2) 工事中の環境への影響

【検討すべき課題】

- ・ 工事に伴う大気質、騒音・振動、粉塵等による環境への影響についての懸念

○関連する意見例

- ・ 工事車両が通行する場合の生活環境への影響に対応するため、外環整備を行う前に関係する三鷹都市計画道路 3・4・3 号線、3・4・11 号線等を整備する。
- ・ 工事中の工事車両は相当多いのではないか。生活環境への影響を懸念する。
- ・ 工事中の現場から砂ぼこりが発生して、周辺地域に飛んでくるのではないかと心配している。
- ・ 工事中の騒音、振動、粉塵対策にしっかりと取り組んでほしい。特に、自宅が外環の計画地に近いので心配している。

(3) 工事中の安全性

【検討すべき課題】

- ・ 工事中における事故の発生や交通の安全性の低下への懸念

○関連する意見例

- ・ 工事車両が通行する場合の一般道の安全性への影響に対応するため、外環整備を行う前に関係する三鷹都市計画道路 3・4・3 号線、3・4・11 号線等を整備する。
- ・ 工事関係の車両は、警察の許可を取って出入りすると思うが、警察の指導が行き届かないかもしれない。事故などが起きないか心配である。

6. 用地・補償

【検討すべき課題】

- ・移転先の確保、補償などへの懸念
- ・地権者へ用地補償についてのわかりやすい説明や丁寧な対応がなされるのかとの懸念

○関連する意見例

- ・事業が具体化しないので相続時に土地を売却して、その場所が住宅になってしまう。それをさらに買収するのは効率が悪い。
- ・相続税納税猶予制度を活用した生産緑地が外環の整備に合わせて収用されると相続税に加えて、延納分の利子税が納めなくてはならない。
- ・日本女子体育大学は都市計画道路補助 219 号線、三鷹都市計画道路 3・4・3 号線の開通により敷地が四分割されてしまう。機能を確保するために移転することは可能なのか。その用地補償はどうなるのか。分からなくて不安である。
- ・計画地内に住んでいる人と交友関係がある。近くに代替地が見つからずに遠くに引越してしまうと、近所づきあいがなくなってしまうようにしてほしい。
- ・昭和 41 年に決められた都市計画道路網は、生活環境や施設経営(用地補償)の面で問題が生じると考えられる。
- ・都市計画道路の計画線内の土地利用制限が指定後 40 年続いているが、整備する時期がはっきりしないために、建物の建て替えが自由にできず困っている。
- ・最近でも計画地内に住宅が分譲・販売され続けている。最近になって新しく住み始めた人たちを含めて、事業化の時期などを説明してほしい。
- ・都市計画道路補助 219 号線が大学のグラウンドの真ん中を通る計画である。グラウンドとしての利用が続けられるか心配している。
- ・外環や周辺の都市計画道路の整備に伴う用地補償について、地権者など権利関係者の合意形成が必要である。
- ・営農者にとっては、用地買収によって不整形で小さな土地が残った場合、営農が続けられなくなる心配がある。
- ・敷地の一部だけ削られると車の置き場や車の出入りができなくなる。高齢なので早急に今後の対策を考えたいが、計画線が確定ではないので対策が立てられない。

7. 計画検討の進め方

(1) 計画検討全般

【検討すべき課題】

- ・外環の整備に伴う、経済効果増大への期待

○関連する意見例

- ・外環や周辺道路の整備により、経済効果があがることにより、利益がある人もいる。

(2) 意見反映

【検討すべき課題】

- ・地区検討会での意見が計画に反映されないのではないかと懸念

○関連する意見例

- ・以前、ある民間の建築計画の際、住民側の出した提案が受け入れられた。外環の検討会でもメンバーの意見が反映されることを望む。
- ・烏山通りに関する意見はどのように反映されるのか教えてほしい。意見を聞き置くだけではなく、整備に反映させてほしい。
- ・これまでは地域の問題に対して、住民の意見がほとんど通らなかったと感じているため、検討会に出ることもためらったが、言うべきことは言おうと思い参加した。今回は住民の意見がきちんと計画に反映されることを望んでいる。
- ・中央 JCT の敷地はほとんど三鷹市なので、面積の少ない世田谷の意見があまり反映されないのではと懸念している。

(3) 情報の提供

【検討すべき課題】

- ・地域住民への十分な情報提供への期待

○関連する意見例

- ・中央 JCT 上部の利用について検討するために、環境的、技術的、構造的な観点から中央 JCT の蓋かけ可能な部分を示してほしい。
- ・中央 JCT の三鷹市・調布市の検討会で行われた議論の内容を知りたい。
- ・換気所に関して、首都高中央環状線での影響に関する情報を示してほしい。
- ・交通量予測調査で、甲州街道(国道 20 号)の交通量が減る予測値に疑問が残る。予測の根拠を教えてください。
- ・大気質の予測で、NO₂ と SPM の現況濃度として深大寺南測定局の数値が使われているが、計画地とは条件が異なるため参考にならないのではないかと。
- ・環境影響評価で、ジャンクション部の大気質への影響を予測してあるが、その評価が正しいものであったかを検証するために、外環開通後に、予測と同じ場所で計測して公表することを確約してほしい。
- ・都市計画道路補助 219 号線が大学敷地を通る計画である。校舎の改築やカリキュラム変更など影響が大きく、学校経営上の対応すべきことが多いので、都市計画道路補助 219 号線の整備時期を早めに教えてほしい。
- ・中央 JCT の建設に伴う既存道路の見直しや新規整備予定の一般道路のルート・構造などについて、でき

るかぎり詳しく知りたい。

- 東八道路周辺の大気質が現状で環境基準を超えているのではないかと心配である。東八道路をはじめ、主な地点の大気質の状態をおしえてほしい。
- 外環の排出ガスの影響について、幼稚園・学校だけでなく公園など不特定多数の人が集まる施設の詳しい予測データを住民等にわかりやすく伝えてほしい。
- 環境影響の予測結果を詳しく知るためには、分厚い評価書をしっかり読まなければならない。公告・縦覧などの中でわかりやすく説明を受けることができるとよい。
- 換気所が十分に機能しているか、継続的にチェックするために、将来にわたって排出ガス調査データを収集し解析してほしい。その解析結果も正確に情報開示し、他の場所の計画にも活用してほしい。
- 環境施設帯を地域住民が利用できるようにしてほしいと考えているので、利用方法を提案するために、使える場所や時期を教えてほしい。